



だいき

令和7年
3月5日
NO. 11

ふるさとを愛し、未来を拓く子どもの育成～(だ)れとでも仲よし・(い)つでも本気・(ご)はん大すき～

わくわく体験がいっぱい

2月20日の授業参観、PTA全体会、学級懇談会には、たくさんの方にいらしていただき、ありがとうございました。ご両親だけでなく、おじいちゃん、おばあちゃんの姿も見られ、学校としては、とても嬉しく思います。家族みんなに見守られているからこそ子どもたちの笑顔が見られるのだと、改めて実感したところです。ありがとうございました。

今年度も残り1ヶ月を切りました。学習のまとめに入っていますが、子どもたちのわくわく体験やチャレンジは続いています。

名前は、「醒ご三家」に決定！
(醍醐小・彼岸花・ハスの3つを合わせたから)



ライフデザインセミナー
～ドローン体験～

2月21日は、ライフデザインセミナーとして、企業組合ジパングの方からドローンについて教えていただきました。大きい農業用ドローンがグラウンドの上を飛ぶ様子を見ただけで、子どもたちは目を輝かせていました。ドローンが様々な場面で活躍していることを学んだあと、体育館で、操作体験を行いました。リモコンを使ってロボットを動かしたり、トランシーバーを使ったりして、将来の職業について考える時間となりました。



銅板エッチング

また、2月25日には、5・6年生が銅板エッチングを行いました。県職業能力開発協会の方や職業マイスターの方から教えていただき、雨樋の菊絞りに挑戦。職人さんが簡単に雨樋を曲げていく様子を見たあと実際に体験してみると、硬くてなかなか曲げられず、子どもたちは、改めて職人さんの技術に感心していました。その後、一人一人、自分で決めた文字を銅板に写し取り、記念の品物ができました。

醍醐のごっつおに親しむ会

2月23日、慈恩寺活性化センターで「醍醐のごっつおに親しむ会」がありました。6年生は毎年招待されています。6年生は、自分たちも料理したいと申し出て、地域の方と一緒に「醍醐のごっつお」作りに挑戦しました。材料を切ったり味見をしたり盛り付けたりして、黒豆ご飯や慈恩玉手鍋などをつくり、みんなでおいしく味わいました。最後に、一人一人、小板地蔵の絵馬をいただきました。地域の皆様、ありがとうございました。



2025 02 23

第3回学校運営協議会より

2月25日(火)に第3回学校運営協議会を開催しました。今回の学校運営協議会では、「醍醐の未来を担う『醍醐っ子』を育むために」というテーマのもと、醍醐っ子につけたい力や、これからの教育環境づくりについて熟議しました。第2回学校運営協議会での話し合いや、学校評価アンケートの結果を受けて作成した来年度の学校経営方針についてお伝えし、委員の皆様から以下のようなご意見をいただきました。

- 学校教育目標をわかりやすい言葉にし、みんなが言えるような合言葉を設定した。一人でチャレンジするものもあれば、友達とチャレンジするものもある。
 - ・来年度、重点として取り組むことは何か。
 - 小規模校の強みを活かして、一人一人の学力を伸ばしていく。また、自己有用感や粘り強さを大事にしたい。人とかがわりながら伸びていく子にしたい。
 - ・どの学年でも学力はついているのか。
 - 学年によってばらつきはあるが、4月と比較すると、どの子も伸びている。
 - 授業参観を見ても、落ち着いて学習しているのがわかる。来年度は、多くの教員が子どもたちにかかわっている様子を見ていただきたいので、自由参観日を設定した。学校運営協議会委員の皆様にも、授業参観や自由参観に足を運んでいただきたいと考えている。
- 保護者が、「将来に向けて、子どもにつけたい力」をたくさんあげている。子どものことを見て、真剣に考えていることが素晴らしい。一筆運動の取り組みもよかった。
 - 保護者の皆様の温かい言葉で、子どもたちの家庭学習が変わってきた。来年度も一筆運動を実施したいと考えている。
- 親を想う気持ち、地域を愛する気持ちを育てたい。そのために、地域の中で、親子一緒にできる体験を大切にしたい。
- 学校行事等への地域の方々の参加について、個人であたるのは限界があるので、グループ単位で声がけて、参加願いたい。学校からの働きかけも願いたい。
 - 3月に、協力願いの文書を全戸配付する。学校からも、こういう活動への協力をお願いしたいということを知らせていく。
- 慈恩寺子どもガイドだけでなく、他の人にかかわる機会を大事にしたい。慈恩寺では、弥勒菩薩を見てもらいながら、夢や未来について語りたい。
 - 地域での学習は、醍醐の特色として大事にしていく。地域行事への参加も呼びかけていく。
- 意見や感想を求められても、その場で考えて言える子になっている。さらに、がまん強さを育めるようにしてほしい。
- 醍醐地区は見守り隊が多く、素晴らしい。挨拶から地域を元気にしたい。子どもたちから挨拶が返ってくるまで、大人が粘り強く声をかけていきたい。
- 中学校に行ってから不登校になる子どもがいる。小学校のうちに、何かできないものか。強い心を育てたいし、スマホいじめ等がないようにしたい。
 - 心も体もたくましい子にするために取り組んでいく。また、情報モラルについては、高学年の道徳の授業で学習している。繰り返し指導し、身に付いていくようにしたい。
- 学校統合に向けて、地域としてやっていくことを考えたい。全戸草取りや資源回収など、地域の中でのつながりは、これからも大事にしたい。
 - 地域行事と学校、地域団体との連携や役割分担等、時間をかけながら考えていく。

委員の皆様、お忙しい中来校いただき、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。醍醐小の子どもたち一人一人が輝けるように、来年度の学校経営や教育活動に生かしていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

